

# 高退協ニュース

高知高退協  
事務局  
2001-9-11  
No.112

高知県高等学校退職教職員協議会  
高知市丸の内2丁目1-10  
TEL 088-1822-1682  
TEL 088-1822-1682  
郵便振替口座 0165012111893

## 夏季学習会講座盛況!

### 岡崎氏のビデオと山原氏の国会活動

八月二十九日、恒例の夏季学習講座を開催、五十五名の参加を得て盛況でした。

最初に「楽しいビデオ作り」と題して、岡崎昭平氏自作のビデオ上映とお話、続いて山原健二郎氏の「議員生活をふり返って」のお話でした。

岡崎氏のビデオは二本。一本は「開成門 温故知新」(明治編と昭和編)。小津高校南西に移転復元された開成門の歴史を追いながら、明治維新からの土佐の青年の軌跡、心ばえを描いています。関連の遺跡を丹念にたどって写された劳作でした。

もう一本は、昨年の室生寺、明日香村、奥香落温泉を尋ねた高退協の研修旅行のスケッチでした。訪れた寺や遺跡、宴会まで再現され、なじみの顔々に会場から笑いが沸きました。

山原氏はまず、二十世紀の百年をふりかえって、天皇と戦争の百年だったと総括。続いて「わが歩んだ戦後」として県教育委員当選から勤評闘争までの闘いを述べられ、国会議員として初当選して以来十回の連続当選を果たされたその活動の成果を披露されました。

対決した首相は十七人。佐藤内閣では土佐湾の米原潜演習を追及、全国六ヶ所の原潜演習をストップさせる。三木内閣では台風五号の高知災害に「兆円の復旧費を獲得。福田内閣時、学校災害見舞金を大幅に拡充させ、その第一号適用が芸芸高校の上海列車事故であったこと等々。

「秋霜も烈日もあり三十年銀杏の散りてまた萌ゆるみて」短歌をまじえながらのお話に、三十年間の国会活動の全容をあらためて俯瞰できました。

### 山原さんの

#### 「労をねぎらう会」

#### 百十余人が懇親

夏季学習講座のあと、山原健二郎さん、ごころうさまでした」と大書された高知城ホールに、高退協62名を含む百十数名が集い、盛大な慰労の会が行われました。

国松勝さんの司会で、主催者を代表して岡崎高退協会長、橋元高教組委員長がそれぞれ山原さんの活躍と人柄をたたえたあと、31年のおよぶ国会活動をビデオで振り返り、山原さんに花束と記念品が送られました。

これにこたえて山原さんは、高退協、高教組のみなさんの支援にお礼をのべ、「初心を忘れず、これからもがんばる」と決意をのべました。

乾杯は山原さんと同窓の浜田元高退協会長が音頭をとり、開宴しました。遠くは幡多の森本宏、順子夫妻や現職の管理職の顔もみえ、山原さんを囲んだり、現職や旧友と交歓、山原さんの活躍と夫々の青春をだぶらせながら、初秋の夜の更けるのも忘れて親睦を深めました。

### 機関誌「こうたいきょう」

#### No.22 原稿募集

今年も12月に機関誌「こうたいきょう」22号を編集発行する予定です。次の要領でふるってご応募下さい。

- 原稿は二千文字以内
- 論文、評論、小説、随筆、短歌、俳句、等自由
- 原稿締切り十月末日
- 近況報告を同封のハガキでお送り下さい
- 送付先  
高知市丸の内二丁目一十一  
高教組内・高退協

## 老声草

今年八月十五日は、教科書採択問題が内外から大きく注目された。それは、日本の侵略戦争と植民地支配を正当化し、

「戦争のできる国」づくりを狙った「新しい歴史教科書をつくる会」の中学歴史・公民教科書(扶桑社)がどの程度採択されるかが問題となっていたからである。結果的に、全国で1%以下の採択。特定の私立中学校と、石原都知事、加戸愛媛県知事の圧力による両都県での養護学校のみ採択に終わり、本県では採用ゼロだった。

ご承知の如く、「つくる会」は、従来の教科書は「自虐的歴史観」によるものだとして断定し、侵略戦争や植民地支配の美化、神話や教育勅語、特効隊員の遺書等を掲載し「戦前の教科書を復活させ、当然中国や韓国からの強い批判、多くの修正要求が出されていた。政府は、僅かな修正と検定制度を理由にこの本を合格させていた。

この危険な動きに対し、民主的な教師、学者、文化人、民主団体などが、シンポジウム、講演会、街頭宣伝、署名運動を展開した。本県でも、「子どもと教育を守る県民会議」が中心となり、同様の取組みを行い、とりわけ、各地教委に出向き教育長との話し合いをもち、採択しないよう要請した。

政府・自民党等は、対米従属を深め、日本を再び戦争のできる国にしようとして、憲法、教育基本法の改悪と同時に、教科書の内容の反動化をはじめ教育三法などを通して、ますます平和民主教育への攻撃を強めてきている。

教え子を再び戦場に送らないと誓った私達は、この危険な企みを阻止したい。(岡崎)

## 民博・有馬温泉

### 六甲へ行こう

#### 高退協親睦旅行案内

- 1 期日 2001年11月15日(木)~16日(金)
- 2 行先 国立民族学博物館 有馬温泉  
紅葉の鼓ヶ滝・瑞宝寺公園  
六甲山頂で神戸港大阪湾を眺め昼食  
六甲高山植物園 六甲山牧場
- 3 旅費 一人当り 35,000円
- 4 申込 10月15日までに別紙にて
- 5 備考 1 従来は研修旅行と言っていました。  
2 今回はゆったりした日程ですが  
いられも一緒に行きましょう。  
3 有馬温泉のみ参加は18,000です。  
近畿在住の方も一献交わそう。

寒泉寺残日録  
坪井 幹之

「百名山」小紀行

以前に「晴山雨院」について書いたが、雨の日の読書はさて置き、山登りは次第におっこうになってきた。足廻りはなんとかもつているが、エンジンにガタが来た。心肺機能が弱ったようである。きつい坂では立ち休みの連続である。それに準備と後始末がしんどい。天気予報に晴れマークが出るとなにか急かされる気にはなるが、なかなか思いきりがつかない。

それでも「山の会」例会登山を中心に山行は続いている。山日記の記録から拾ってみると、この数年の間でも登頂した山は相当ある。「日本百名山」では火打、妙高、雨飾、四阿、開闢、阿蘇、雲取などの名前が散見される。その印象記をいくつか書いてみよう。ずっと前に信州の名湯野沢温泉を訪れた時、菜の花畑のあなたに白雪の輝く遠峰を見

た。名前を聞くと越後の山、火打だという。それから十年、頸城山系の盟主火打・妙高に登った。妙高最後の登りはなかなかきつく悲鳴を上げた。その分、掃途、戸隠での骨休めは楽しかった。

次に雨飾であるが、深田御大も「久慈の頂上」と書いているが背は低い名山である。豪雪地帯にあるだけに、途中の谷間には深い残雪があった。頂上からの眺めは抜群、姫川を隔てて屹立する白馬連峰には歓声が上がる。この後菅平に泊、四阿・根子に登る。咲き誇る松虫草には博物物にうとい身にも印象的であった。

最後に、阿蘇である。観光ではない登山の阿蘇である。この三月、念願の高岳・中岳に登る。仙酔峽が登山口で、二時間強岩山の直登を強いられた。一級のアルペンルートで、挑戦するには相当な覚悟がいるとみた。

昨今百名山の是非をめぐる論議が盛んであるが、できれば完登したいと思っている。

俳句

7月24日(火)大野見村

四万十源流の家

合田 青幹

源流に冷す西瓜の浮き沈み

天職と言うてひたすら田草取る

田所たねを

源流の涼しい石に懸ひけり

源流の瀬音を耳に昼寝かな

吉本 伸秋

下刈の草音立てて乾きをしり

またたびの葉を翻す風も白

中内みち代

源流の鮎の香りをもてなさる

かなかなの二夕声ありし山気かな

小笠原さちを

源流に浸す佳人の指涼し

育つまでの気安め諸の猪囲い



寄稿のお願い

退職後は音信も途絶えがちです。それだけに高退協ニュースを旧知を温め、近況を伝える「会員の広場」にしたいと思っておりますので、皆さんの積極的な寄稿をお願いします。

例えば

- 〈わたしの健康法〉(旅の体験記)
- 〈近況やご意見、会員の消息〉
- 〈老眼鏡〉読書、映画などの感想
- 〈俳句、短歌、川柳、詩〉
- 〈高退協へのご意見、ご要望〉

◇紙面の都合で若干調整させていただきます。場合もありますので、あらかじめご了承ください。

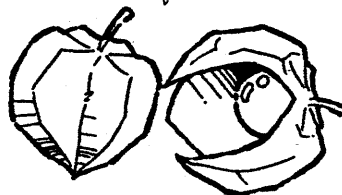
◇原稿送り先 〒780

高知市若草南町10-2 南 千加良 宛

「門田豊さんを偲び追悼遺稿集出版を記念する会」に百三十名

追悼遺稿集出版を

記念する会」に百三十名



昨年7月、惜しくも逝去された門田豊さんを偲ぶと共に追悼遺稿集出版を記念する会が7月15日、高知会館に関係者百三十名が出席して盛大に催されました。追悼遺稿集の出版のため、昨年末より編集委員会(猪野睦委員長他八名)が10回開催され、有志の物心両面のご協力により完成しました。

山原健二郎さんの追悼文をはじめ、三部構成三百六頁と年表付きの立派な本となりました。第一部は熱血漢門やんを追悼する、第二部は遺稿に学ぶ、第三部は門田豊残像の三部制で、門田さんの全容がまとめられています。高退協や高教組の会員も10名が寄稿しており、親しみやすい本になっています。入手ご希望の方には、一冊三千円でお渡しできます。連絡は岡崎清恵氏まで。

高校・障害児教研

10月13日(土)・14日(日)

於・丸の内高校

今年の高校・障害児教研は実行委員会主催で開催されます。高退協も実行委員会に加入して、その成功を期すことにしていますので、会員の皆さんの積極的なご参加をお願いします。

記念講演は京都女子大の野田教授が来高してくれます。教科書問題その他教育問題が、国の行方を左右しようとしている折から元の教職員としての責務を果たしましょう。

10月13日(土)	出
教科別分科会	13:30~17:00
交流会	18:30~
14日(日)	(日)
全体会	10:00~12:00
問題別分科会	13:00~16:00

「JUNIOR」教科書批判の

本の紹介

- 子どもと教科書全国ネット21編「こんな教科書子どもにわたせますか」(大月書店・一三〇〇円)
- 小森陽一・坂本義和・安丸良夫編「歴史教科書何が問題か」(岩波書店・一六〇〇円)
- 永原慶二著「歴史教科書をどうつくるか」(岩波書店・一五〇〇円)
- 浜林正夫・山科三郎編「徹底批判「国民の道徳」」(大月書店・二〇〇〇円)
- 俵義文著「徹底検証あぶない教科書」(学習の友社・一五二四円)
- 不破哲三著「ここに「歴史教科書」問題の核心がある」(新日本出版社・七五〇円)

### 8・15平和を願う

#### 県民の集いに

高退協から14名参加  
8月15日夜、高知城ホー  
ル2Fで、標記の集いが百  
名以上の参加者で開催され  
ました。  
毎年開いています。今年  
はとくに小泉首相の靖国  
神社参拝の強行もあり、参  
加者は怒りを燃やしていま  
した。

まず、主催団体を代表し  
て岡崎高退協会長が開会挨拶、続いて栗原革新懇全国  
代表世話人のメッセージが  
ありました。

基調報告は「8・15に想  
う」と題し、前衆議院議員  
の山原健二郎さんが、一時  
間にわたり、靖国神社問題、  
日本軍六割の餓死問題、中  
国人、韓国人の強制連行と  
死亡の問題などを取り上げ  
て、日本政府の責任を激し  
く追及、戦争責任を果たす  
ことの重要性を強調しまし  
た。さらに、教科書問題、  
高知空襲、原水禁世界大会  
などについて、6名が意見  
発表しました。集会アビー  
ルの採択の後、西森稔県退  
教協会長の閉会挨拶で終了  
しました。

### 恐怖の下

ドンドコ沢



上岡 積

この夏、山の会で南アル  
プス・鳳凰三山へ登った。  
夜叉神峠登山口を早朝に発  
ち、薬師小屋泊、翌夕方に  
青木鉱泉に下山する一泊二  
日の山行である。  
この山は、展望が良く行  
程としても易しい、南アの  
入門コース・初心者ルート  
とある。  
取っ付きの登りは予想に  
反して楽だった。  
峠に立てば、すなりとし  
たヤナギランの紅色を通し  
て、北岳・間ノ岳・などの  
山々が青空にそびえ立って  
いる。素晴らしい眺めだ。  
だが、それに続く登りに  
はまいった。鬱蒼と茂った  
シラビソ林の中を、急坂が  
延々と続く。振り返れば、  
林の切れ目から富士山がど  
っしりと浮かんでいる。尾  
根の岩陰には、タカネビラ  
ンジがピンクの可憐な花を  
つけて迎えてくれる。

### 会員の消息

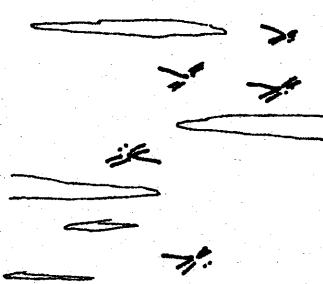
- 西村晋さんが今春から  
病氣療養中
- 中田四一さんが病気で  
入院中
- 川島隆志さんが金婚祝  
い

### 新入会員紹介

戸田泰輔 (須崎工)  
今年度は三名中二二名  
(九六%) になりました

#### お詫びと訂正

前号でお知らせした新加  
入者、皇山裕子先生は皇中  
裕子先生の誤りでしたお詫  
びして訂正します。



しかし、氣息エンエンの  
男どもには、何の支えにも  
ならない。それに反して女  
性はえらい。「ピクニック  
気分だ」と足取りも軽くス  
ンズン進む。

翌日も天気はいい。  
薬師岳・観音岳・地藏岳  
(鳳凰三山)と辿る尾根道  
はすばらしい。岩峰や奇岩  
、そして花崗岩の白砂、高  
嶺の花々の中を行く。歩む  
につれ、南アの名峰が遠く  
近く角度を変え、姿を変え  
て我々を迎えてくれる。  
それはいい。問題は下り  
だ。

下りをなめていたわけ  
はない。一気に一六〇〇m  
余りを下りることは地図で  
わかっていた。だがこれほ  
どとは、予測をはるかに超  
えている。  
「ドンドコ沢」。誰が名  
づけたか、これほど見事な  
名前はない。垂直に近い狭  
い坂道を、沢沿いにドンド  
コ、ドンドコ下る。  
道には大小無数の木の根  
が張り出していて、自慢の  
「長い脚」をフルに使って  
も乗り越えがたく、苦難が  
続く。

どっこらしょ、よいしょ  
、ズルズルどしん。しり  
もち、つまずき何でもあり  
で、遂に脚を引きずり出す  
有様である。  
坪井リーダーは、時々笛  
を吹いて休憩を入れるが、  
その音も次第に遠ざかり、

### クラブ紹介

「山の会」  
1990年1月に結成以  
来、国内外の山を次々と登  
り、その数は、98年4月  
、遂に100座に達しまし  
た(高退協機関誌19号6  
6ページに詳しくあり)  
その後もベイスは衰えず  
、現在では130座近くに  
なっています。

会員数 44名(高退協外16名)

年会費 1000円

山行 月1回(内四国

外、海外旅行)

本年後半の予定

3月 月1回(内四国

外、海外旅行)

11月 阿ノカ三大会立

公園(下ノカ)

12月 阿ノカ三大会立

1月 阿ノカ三大会立

2月 阿ノカ三大会立

3月 阿ノカ三大会立

明年度の海外

シルクロード(阿ノカ三大会立)

阿ノカ三大会立

阿ノカ三大会立

阿ノカ三大会立

阿ノカ三大会立

阿ノカ三大会立

阿ノカ三大会立

阿ノカ三大会立

阿ノカ三大会立

阿ノカ三大会立

阿ノカ三大会立

阿ノカ三大会立

阿ノカ三大会立

阿ノカ三大会立

阿ノカ三大会立

阿ノカ三大会立

阿ノカ三大会立

阿ノカ三大会立

阿ノカ三大会立

阿ノカ三大会立

阿ノカ三大会立

阿ノカ三大会立

阿ノカ三大会立

阿ノカ三大会立

阿ノカ三大会立

阿ノカ三大会立

阿ノカ三大会立

阿ノカ三大会立

阿ノカ三大会立

阿ノカ三大会立

阿ノカ三大会立

阿ノカ三大会立

阿ノカ三大会立

阿ノカ三大会立

阿ノカ三大会立

阿ノカ三大会立

阿ノカ三大会立

阿ノカ三大会立

阿ノカ三大会立

阿ノカ三大会立

阿ノカ三大会立

阿ノカ三大会立

阿ノカ三大会立

阿ノカ三大会立

阿ノカ三大会立

阿ノカ三大会立

阿ノカ三大会立

阿ノカ三大会立

### 著読鏡 「つんと行く」

門田豊さんの追憶集で、  
副題が「信念と行動の門田  
豊さん」となっています。  
「熱血漢 門やんを追憶  
する」「遺稿に学ぶ」「門  
田豊遺像」の三部で構成さ  
れています。編纂者のご  
苦勞が偲ばれます。

追憶は多方面から文が寄  
せられていますが、興味津  
々たるものいっぱいです。  
当然ですが、わが高退協メ  
ンバーの文も多く、興味津  
々です。

遺稿では、兆民、秋水、  
自由民権、戦争、平和、剣  
道など多岐にわたるものが  
集められています。あらた  
めて八面六臂の活躍ぶりが  
偲ばれるところですよ。

残像は、対談と偲ぶ座談  
会なのですが、知っている  
人ばかりなので非常に面白  
く読みました。

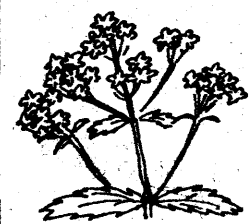
私はひそかに本の題名が  
「きわを立てる」ではない  
かと思っていました。よく  
「きわを立てにゃいかん」  
と叱咤されました。この題  
名「ずん」でなく「つん」、  
たしかに門田さんのは、土  
佐人らしくそう聞こえまし  
た。

さて、まだ残部あると思  
いますので偲ぶですがにお  
読みください。

門田さんが知事選に出ら  
れた時私が贈った短歌、こ  
れを書いていて突然思い出  
しました。恥ずかしいので  
すが、今思い出したのは書  
けとの意味だろうとして紹  
介します。

大土佐の革新の気を  
背において  
君さわやかに正眼に立つ

(一)



### 訃報

神戸市在住の西山益子さ  
んが八月二十一日逝去。  
謹んでご冥福をお祈りし  
ます。

高教組だより

高教組委員長 橋元 陽一  
八月二十九日、山原健二郎さんの労をねぎらう会が盛会に終わりました。現職にとりましても、久しぶりに先輩のみなさんに出会えて話が弾み、元気が出ました。

さて夏季休業中の研修権をめくり、「勤務の適正化」を強調して自宅研修制限を加えようとした問題が起きた今年の夏休みも終わり、二期が始まりました。学校は子どもたちの元気な声が響き渡り、活気づいています。今夏も様々な運動が展開されました。

七月二二日は第一五回高校生平和祭が行われ、高知商業の放送部がNHK全国高校放送コンテスト・テレビドキュメント部門での優勝作品「VR「高知性」の発表、高知海洋高校の海援丸実習体験発表、えひめ丸沈没事故での行方不明者寺田祐介君の両親からの報告等が行われました。

お父さんは「事故直後の救出、操作などを巡る日本及びアメリカ政府の対応に怒り」と日米安保条約の不合理さを痛感した。事故の原因もまだ明らかになっていない。何年かかっても追求していく決意だ」と話されました。お母さんは「まさか我が子がこんな平和な日に、兵器である潜水艦に命を奪われるとは。一月八日、宇和島駅で笑顔で見た送った祐介の顔が消えない。でも泣いているだけではない。何かしなければと思い、行動に移した」と涙して語られました。

七月二十九日投票の参議院選挙では、マスコミで騒がれた小泉自民政権を打破することはできませんでした。翌三〇日から二日間、高知城ホールで教組共闘四国プロック会議が開かれ、四県から委員長、副委員長、書記長、青年部執行委員

が参加して活動交流を行いました。徳島からは組織的な参加ではありませんが、セウハラ事件での解同の奮闘と闘っている仲間からの報告がありました。また全国教組共闘交流学習会が八月一〇日、一二日、広島で行われ、一台の車で便乗して六名が参加しました。

一三日、一四日は高教組夏期学習会が香長文部主管で、土佐山田町の県立森林総合センターで開催しました。一日目は「学校づくりにおける校長・共闘の役割と教職員の権利・権限」と題して、吉田正美さん(全教中央執行委員)からの講演、続いて東、北高夜間定時、若草分会から学校づくりの取り組みが報告がありました。学校分析で、課題を明らかにして、職員会に具体的な方針を提言して学校づくりをすすめている実践報告でした。

二二日、二四日の三日間、東京豊島公会堂で二〇〇台を越える右翼街頭車の妨害行動を受け、機動隊の異様な警備の中で、第一七回全教定期大会が行われました。教科書採択、指導力不足教員認定、二五人学級実現の取り組み。

活動日誌

【7月】

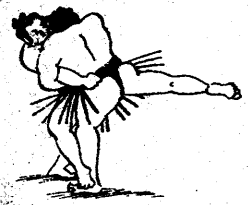
- 4日 第23回戦争と平和を考える資料展 第18回反核平和コンサート
- 6日 ビースウエーブ講演会
- 8日 第18回平和映画祭
- 10日 高退協事務局会
- 12日 参議選公示 高校障害児教研究実行委員会
- 13日 「子どもと教育を考える会」の会
- 15日 故門田豊さんを偲び追悼遺稿集出版を祝う会
- 17日 沢谷裁判傍聴
- 21日 第15回高校平和祭 第3回パイオミュージックコンサート(夜)
- 29日 参議選投票日

【8月】

- 3日 国民救援会高知県支部定例総会
- 15日 8・15平和を願う県民の集い(夜) 第2回8・15平和のための子どもつどい
- 16日 高退協事務局会
- 29日 高退協第15回夏季学習講座 山原さんを励ます会(夜)
- 【9月】
- 2日 西山益子さんの告別式
- 3日 全退教四プロ役員会(川之江市)

相撲三知識 四十四

林 勤



二枚蹴り

第二新弟子検査

一門戸を広め、個性派力士の出現を期待！  
現行入門規定(幕下付け出しを除く)は「一七三歳、七五kg、内蔵検査に合格」であるが、今年から、「一六七歳、六七kg以上で、体力測定の結果、別表の基準以上のもの」にも門戸が開かれることになった。

これは、力士の大型化(現在の幕内力士四十人の平均は、一八四kg、一五三kg)で相撲内容が単調になったことや、新弟子受検者が減少したこと等から、小さくても運動能力が優れている者への門戸開放と、個性派力士の養成を目標にしたものである。

小兵力士と言え、技のデパートと言われた舞の海(一七一kg、九六・五kg、平成十一年十一月場所後引退)の活躍が記憶に新しいが、大関・大ノ里(一六四kg、九七kg、大正中頃一昭和初期)が小兵・強豪の代表格であろう。

便宜上、「従来どおりの新弟子採用検査を第一検査」「新基準によるものを第二検査」と呼び、第二検査は今後、毎年三回実施される。今年の検査は「二月二十一日・十六人受検、十三人合格、五月二日・四人受検し全員合格、八月三十日・三人受検、全員合格」であった。

数年後には、第二検査の入門者から個性ある十両、幕内の力士が誕生することを期待し声援をおくりたい。

別表

現役の十六歳から二十四歳までの小兵力士三十二名の体力テストを行った結果の中間値(A)と、下から三十%に当たる値(B)である。第二検査の十八歳以上はAを、十八歳未満はBを、合格ラインとする。

得点	最大筋力			筋持久力	瞬発力	俊敏性	走力	心肺持久力	(合計得点)
	背筋力	ハンドボール	握力	上体起こし	垂直跳び	反復横跳び	50m走	シャトルラン	
中間値(50%) A (得点)	149kg(8)	26.3(6)	42kg(6)	25回 (6)	44.5cm (6)	37回 (3)	8.8秒 (3)	37回 (3)	(28)
下から30%にあたる値 B (得点)	137.9kg(6)	20m(4)	39.4kg(6)	23回 (5)	41.5cm (4)	37回 (3)	9.0秒 (3)	37回 (3)	(23)

